

2021 年度 (令和 3 年度) 学校評価自己評価表

福山市立大門 中学校区 校番 24 福山市立 大門中 学校

最終更新日 2022年(令和4年)2月4日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。  
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 共感性
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども主体の活動を推進する。</li> <li>情報発信及び地域行事への参加等により、地域と学校の協力体制を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考力・表現力が弱い。</li> <li>自尊感情は伸びてきたが、主体的に行動する力は弱い。</li> </ul>	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	自ら考え、学び、自尊感情の高い生徒
		中学校区として統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学びに向けた授業を創る。</li> <li>レーダーチャート等を活用し、学級力や自尊感情を高める取組をする。(年3回アンケート実施)</li> </ul>

III 自校

ミッション	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感性	
確かな学力と豊かな心を備え、物事を深く考え行動する生徒を育成することで、地域の信頼に応える。	めざす子ども像	1年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を発見している。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、論理的に説明をしたり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気づき、相手の立場を尊重し、行動している。
学校教育目標		2・3年	生活や実社会と関連付けた課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べたり、情報を他者と共有しながら、必要な選択し、表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、粘り強くやり抜くことができるよう行動している。	仲間とともに、何かを成し遂げた成功体験をもとに、人と人とのつながりの中で、助け合い励まし合って行動している。
現状	テーマ	学び続ける生徒の育成				
<p>&lt;児童生徒&gt;</p> <p>○文章の内容の話題や方向を捉えて、自分の考えをもち記述することに課題がある。        ○生徒自らが主体的に課題を発見し、解決していく自立的な活動が弱い。        ○与えられた課題や役割は責任を持って果たそうとするが、発展的に取り組む意識が低い。        ○自尊感情の高まりは見られるもの、克服できない生徒が固定化されている。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>○知識や技能の習得だけでなく、「できる」を「わかる」にするための生徒へのかかわりが十分ではない。        ○解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と感じている生徒が、増加していない。        ○単元における指導と評価の一体化において、指導に生かす評価と記録に残す評価が計画的ではない。</p>	研究 内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの課題を発見し、その課題を解決する方法を自身で考える力を獲得する。</li> <li>できなかったことができるようになり、またできるからわかるようになり、さらに活用していく力を獲得する。</li> </ul>				
	めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の中でつきたい力を意識した、授業展開を行う。</li> <li>生徒の主体的な学びにつながるような題材を設定し、それをもとに生徒が意欲的な活動を行っている授業を確立する。</li> </ul>				

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 大門中 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)					
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価	改善方策
7	基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力の育成	★	継続	「認知のしくみ」に基づいた授業改善【課】【主】	単元指導計画に基づいた主体的な活動のある授業を行う。	生徒アンケート「学ぶことが面白い」、「意欲的に学んでいる」を80%以上。	学ぶことが面白い。69.0% 意欲的に学んでいる。72.1%	3	3	学力の伸びの調査の分析を個人・各教科・各学年で行い、改善策を実施する。また、授業の相互参観を1人1回以上する。	学ぶことが面白い。69.6% 意欲的に学んでいる。74.4%	3	3	3	学力調査の分析や取組内容を全体で共有し、教師個人・各教科・各学年で改善策を実行する。また学習方略を中心に、生徒自身に自分の学習方法を見直させる。
4	主体性・積極性の育成	★	継続	主体的に自治活動をする生徒の育成【課】	年間を通して縦割り集団を活用した自治活動(城興CUP)を仕組む。	生徒アンケート「城興CUPで意識的に活動している」を90%以上。	城興CUPで意識的に活動している。63.0%	3	3	城興CUPを絡めた活動を継続する。点検活動だけでなく、生徒の主体的な活動として読書通帳を作成した。	城興CUPで意識的に活動している。69.9%	3	3	3	次年度は、城興CUPを絡めた活動を継続する。また、読書通帳など生徒の主体的な活動を生徒自らが企画・実施させる。
6	自己の健康管理と体力の向上に取り組む生徒の育成		見直し	意欲的に体力向上に取り組む生徒を育成する。【主】	体育の授業や部活動、家庭での体力づくりを仕組む。	新体力テストでの県平均を上回る種目を18/48(一昨年度)から28/48以上。	新体力テストでの県平均を上回る種目が29/48	3	3	体育の授業始め5分間に新体力テストの課題である柔軟性の強化に取り組む。	新体力テストの種目、長座体前屈(柔軟性)の再テストの結果、78.6%の生徒が県平均を上回った。	3	3	3	体力向上に向けての課題を共有し、生徒個々が自身の改善点を把握して、課題克服に向けての取組を見直させる。
4	確かな授業力と専門性を高める教職員	★	継続	業務の効率化と精選【課】	勤務時間7時間45分を意識した業務を行う。	時間外勤務時間が月45時間を超える教職員0人	時間外勤務時間が月45時間を超える教職員は月平均5人である。	3	2	ペーパーレス化による業務改善を行うとともに、意識の高揚を図るため校内研修を2回以上行う。	時間外勤務時間が月45時間を超える教職員は月平均5.6人であった。	3	2	2	年度末までに、業務改善のためのソフトや機器の導入をすすめる、次年度当初より実施する。
7	保護者・地域から信頼される学校経営		継続	持続的に地域貢献する生徒の育成【共】	校外外で生徒によるボランティア活動を仕組む。	ボランティア活動に参加した生徒の延べ人数1000人以上	校外外のボランティアに参加した生徒は532人であった。	3	3	ボランティア活動を、2か月に1回以上実施する。学校HPやGoogleクラスルームを活用し情報を発信する。	校外外のボランティアに参加した生徒はのべ717人であった。また学校HPを活用し、的確に情報を発信することができた。	3	3	3	生徒自身がボランティア活動を企画・立案し、実践させる。また、ボランティア活動を含む近況を学校HPやGoogleクラスルームを活用し発信する。

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。